

福岡 A C A P 2010 宣言

アジア太平洋地域の急速な人口高齢化に鑑み、われわれは新たな社会システム—そこでは、高齢者に優しい地域において、全ての世代が学び、貢献し、互いに支え合う機会が積極的に提供され、年齢差別の解消が進んでいる—への理解を深めなければならない。

第 5 回福岡 A C A P 2010 の参加者は、基調講演、4 つのシンポジウム、ポスターセッション及び 5 つのワークショップを通じて、調査システム、高齢者に優しい地域社会、社会政策、健康づくり及び介護に関する最良実践を分かち合い、そこで得られた知恵と技術をもって、この課題へ応答した。

この会議において、われわれは、アクティブエイジングに関する国内的な努力とともに、国際的な協働をステップアップさせることの必要性を再び認識した。高齢化の状況は国々によって異なるとはいえ、情報とアイデアを分かち合うことで、われわれはもっと多くのことを学ぶことができる。

この会議の総括として、われわれは次のように宣言する。

- 1 人口高齢化に関する統計は、知識と行動の基礎である。
関係当局は、研究者や政策立案者が高齢化の状況を把握し、調和ある解決を図るための拠り所となるデータ整備を強化すべきである。
- 2 一生涯にわたる健康は、アクティブエイジングの基礎的要素である。関係当局は、教育・社会・医療・介護それぞれのシステムの中に、健康づくりと疾病予防を統合すべきである。
- 3 アクティブエイジングには社会参加が必要である。関係当局は、年齢差別の解消、ユニバーサルデザイン推進、及びすべての世代の市民生活・教育・文化・経済・社会における包摂を支援する社会啓発活動と社会政策を推進すべきである。
- 4 アクティブエイジングには安心安全な環境が不可欠である。関係当局は、高齢者に優しい地域社会や経済システムを促進し、官民による介護人材の訓練や資格取得を支援すべきである。
- 5 福岡市はアジアの玄関口であり、アクティブエイジングに関する知識と最良実践の世界的交流のリーダーとなるべきである。

2010 年 10 月 31 日

アジア太平洋アクティブエイジング会議 2010 参加者一同